

LESSON 14 GOING WITH MY FRIEND

まいにち かとうくと がっこうへ いきます。

ねらいと学習事項

【コミュニケーションの到達目標】

- 情報のやり取り
 - 行動の予定について、具体的に、行き先、同伴者などを言ったり、聞いたりする。
- 人々とのかかわり
 - 帰宅したときのあいさつ、帰宅した人を迎えるときのあいさつ

【KEY SENTENCES】

- 1 バードくんは まいにち かとうくと がっこうへ いきます。
- 2 バードくんは ことしの 8がつに ひとりで にほんへ きました。
- 3 バードくんは きのう どこも いきませんでした。



【言語学習項目】

文型：PERSON は PERSON と PLACE へ いきます。

PERSON は だれと PLACE へ いきますか。 — PERSON と いきます。

PERSON は なにも Vません。/どこも いきません。

語彙：助詞「と」(同伴者)、「なにも」「どこも」 他

表現：「ただいま」「おかえりなさい」(家に帰ったときのやり取り)

文法のまとめ：RELATIVE TIME EXPRESSIONS 1・2

【日本と世界の文化・情報】

- 靴を脱ぐ習慣と日本の家
- 先輩と後輩

内容と解説

EXERCISES I

Student Book の 174～175 ページのイラストを使って練習

1. ex. バードくんは かとうくと がっこうへ いきます。

- ①かとうくと、うちへ かえります ②きむらさんと、えいがを みます
 ③おとうさんと、きょうとへ いきます ④かぞくと、レストランへ 行きました
 ⑤ひとりで、アメリカへ かえります ⑥かとうくと みどりちゃんと、あさごはんを たべます
 ⑦せんぱいと やまもとくと、プールへ いきます ⑧だれと、デパートで とけいを かいますか

2. ex. バードくんは まいあさ かとうくと がっこうへ いきます。

- ①たいてい 5じごろ、かとうくと、うちへ かえります
 ②あした 6じに、きむらさんと、えいがを みます
 ③らいしゅうの どのようびに、おとうさんと、きょうとへ いきます
 ④せんしゅうの にちようびに、かぞくと、レストランへ 行きました
 ⑤らいぬん、ひとりで、アメリカへ かえります
 ⑥まいあさ 7じごろ、かとうくと みどりちゃんと、あさごはんを たべます
 ⑦ときどき、せんぱいと やまもとくと、プールへ、いきます
 ⑧おととい、だれと、デパートで とけいを かいましたか

◆左から右へ、構文どおりに並んだイラストに沿って発話し、正しい語順を身につけます。

◆2. では、1. の文に、時が加わっています。動詞の時制にも留意して練習します。

◆時の表現の学習には、RELATIVE TIME EXPRESSIONS の表を参照してください。

⇒ [楽しく学べるアイデア集 L14 いつ・だれと・なんで・どこへゲーム](#)

EXERCISES II

Student Book 176～177 ページのイラストを使って練習

ex. バードくんは なにも たべません。/バードくんは どこも 行きません。

- ①おとうさん、まいあさ、なにも たべません ②おかあさん、あした、どこも 行きません
 ③やまもとくん、きのうの ばん、なにも よみませんでした
 ④たなかせんせい、きのう、なにも かいませんでした
 ⑤みどりちゃん、おととい、どこも 行きませんでした ⑥かとうくん、けさ、なにも のみませんでした
 ⑦おとうさん、せんしゅうの にちようびに、なにも しませんでした

◆イラストではX印を活用しています。全否定の言い方を導入します。

◆「なにも V ません。」「どこも V ません。」の文末の否定形が自動的に出てくるように練習します。

MAIN DIALOGUE

会話本文は Student Book 178ページ/179ページのイラストを使って練習

- ◆玄関先で、帰宅したバード君とおかあさんが、あしたの予定について話す場面です。
- ◆「ただいま」「おかえりなさい」のあいさつ表現を学びます。
- ◆生徒の生活に合わせて、先週末の行動を聞くなど、内容をアレンジした会話練習をします。

⇒ [日本と世界の文化・情報 L14【1】靴をぬぐ習慣](#)

SHORT DIALOGUES

会話本文は Student Book 180ページ

- ◆テキストのモデル会話を聞かせたり、読ませたりして、内容を確認した後、役割を決めて、発話練習をします。
- 1. たなかせんせいが、バードくんの家族の来日について質問しています。L5で学習した、家族の呼び方を思い出して、「おかあさん」と「はは」、「おねえさん」と「あね」を使い分けます。
- 2. バード君と柔道部の先輩との会話です。先輩が後輩に話すときは、informal speechが使われますが、「する」は「します」のplain formとして、理解中心に紹介します。
- 3. 「なにも かいませんでした」はEXERCISES IIで練習した文型です。会話の中で使いこなせるようにします。

⇒ [日本と世界の文化・情報 L14【2】先輩と後輩](#)

JAPAN NEWS

英文によるコラムは Student Book 178ページ

- ◆靴を脱ぐ習慣を紹介しています。

TASK 9

詳細は Student Book 181ページ

- ◆かなで書かれた文を読み、内容に合ったイラストを選びます。情報を正しく読み取る力を養います。

QUIZ

Student Book 183～185ページ

- 読み書きにより言語学習項目の知識を確認します。宿題や小テストにして、フィードバックします。

楽しく学べるアイデア集

いつ・だれと・なんで・どこへゲーム

⇔ EXERCISES I

- ① クラス全員に下記のように細長く切った紙を配り、6つに折らせる。
- ② 各自に、一番左の欄に「(名前)は」と書かせる。(クラスメートなど、だれの名前でもよい)

(点線ごとに裏に折り返す)

例) [行為者]	[時]	[同伴者]	[手段]	[場所]	[動詞]
ミッキーは					

- ③ 各自、紙を折って、後ろの生徒に回し、前の生徒から新たな紙を受け取る。
- ④ 左から二番目の欄に、教師の指示にしたがって、各自の好きな「時の言葉」を記入する。
- ⑤ 記入したら、また紙を折って、後ろの生徒に回し、新たな紙を前の生徒から受け取る。
(受け取ったとき、前の生徒が記入したことは見てはいけない。)
- ⑥ 同様に、「(人)と」、「(手段)で」、「(場所)に」の欄を記入させていく。
- ⑦ 「(場所)に」の欄を記入し終わったら、紙を開かせ、一番右の欄に「いきます」あるいは「いきました」と正しい時制で記入させる。
- ⑧ 各自、自分の受け取った文を読み上げる。

*このゲームのポイントは、一つの文をパートごとに、いろいろな人が担当するため、どんな文ができあがるかわからないところにある。決まりきったことではなく、「ミッキーマウスと」「UFOで」「デパートへ」「いきました」などのように、ナンセンスな文も出てくるので、ゲームとして楽しみながらの練習となる。

*紙を5つに折って、手段の言葉を記入しないようにすれば、最後に書く動詞は「たべます」「べんきょうします」などいろいろ記入でき、より面白い文が産出される。

日本と世界の文化・情報

【1】靴を脱ぐ習慣

- 日本では、靴を脱いで家に入ります。玄関の構造は、欧米の家とはちがって、靴をぬぐスペースを設けており、段差があります。L13のSHORT DIALOGUESの3.にある「どうぞ おあがりください」という表現も、ここから来ていることを紹介します。
- 最近の日本の家には、たいてい玄関にスリッパが用意されていて、お客さんがはきかえられるようになっています。欧米式のじゅうたんやフローリングの床の部屋には、スリッパで入り、伝統的な畳の部屋では、さらにスリッパを脱ぐという生活習慣を、日本の家屋の写真やVTRを参照しながら、紹介します。
- また、お手洗いにはお手洗い専用のスリッパを置く家庭も多く見られ、ここでは、通常部屋でなくスリッパからお手洗い専用のスリッパにはきかえます。

【2】先輩と後輩

- 日本の社会には、先輩と後輩という文化がありますが、社会人だけではなく、これは学校文化のなかでも同様です。クラブ活動などでは、先輩が後輩を指導したり面倒を見たりし、後輩は先輩を見習っていきます。
- SHORT DIALOGUESの2. では、バード君が柔道部の先輩と会話をしています。川田先輩は15歳、バード君は13歳と、2歳ちがいますが、先輩、後輩の間柄は、ことばにも反映され、先輩は後輩に対して informal speech で、後輩は先輩に対して formal speech で話しています。